

意見書

第一回定例会では、1件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。

●東京都保健医療計画改定に向けた意見書 (提出：医療・高齢者等特別委員会)

区の人口は72万8千人を超え、一部の県を上回る人口規模でありながら、200床を超える病院は3施設のみである。人口10万人当たりの一般・療養病床数は平成29年6月1日現在290床であり、23区平均である779床の約3分の1にとどまっている。医療機能の面でも、急性期から回復期、慢性期まで、すべての機能が不足しており、入院を必要とする区民の約7割は区外の病院に入院している。更に、区内には生命の危機を伴う重篤患者に対する三次救急医療機関がないため、緊急性が高いにもかかわらず対応に時間を要している。

今後、高齢化の進展に伴い、高齢者人口が増加し続け、30年後には20万人を超えることが見込まれており、入院や在宅医療、救急等の医療需要が増大することは必至である。こうした中、区民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的・継続的に提供される地域包括ケアシステムを確立することが急務となっている。

これまで入院医療は、基本的に二次保健医療圏において確保することとされてきたが、地域包括ケアシステムの確立には、住民の視点に立ち、身近な地域にバランスのとれた切れ目のない医療提供体制が整備される必要がある。

団塊の世代がすべて後期高齢者となる37年を目前に控えた今こそ、将来

を見据えた医療政策の展開が求められている。

よって、本区議会は、東京都保健医療計画の改定と基準病床数の見直しにあたり、区民が地域で安心して暮らし続けられる地域包括ケアシステムを構築するため、次の事項について強く要望する。

- 1 基準病床数は、東京都地域医療構想に示された平成37年における需要予測を踏まえて見直されたい。また、計画期間の中途においても必要に応じて基準病床数の見直しを行われたい。
- 2 二次保健医療圏内の基礎的自治体ごとの医療機能の配置状況、人口規模や面積を総合的に勘案し、不足する病床機能の充実と病床偏在の是正に配慮されたい。特に、在宅療養を支える回復期・慢性期の病床は、基礎的自治体ごとに必要な数を整備できるように配分することを保健医療計画に盛り込まれたい。
- 3 災害時対応も踏まえ、三次救急医療機関のない地域への配置について配慮されたい。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

平成30年2月28日

▽あて先・東京都知事

平成30年度一般会計予算の主な事業を紹介します

子どもの成長と子育ての総合的な支援

- 待機児童解消後も保育サービスをさらに充実、小学生の放課後の居場所も拡大 [25億1732万円]
- 育児の孤立化・児童虐待を防止するために「ずっと」「もっと」「ほっと」を推進 [1億1163万円]
- 支援が必要な子どもたちのために不登校対策や障害児支援などを充実 [2億8202万円]
- 子どもたちの充実した学校生活のために区立小中学校の教育環境を整備 [6億908万円]

安全・快適な都市の実現に向けた基盤整備

- 大江戸線延伸の早期着工へ向けて基金を積み増し、まちづくりを推進 [7億5845万円]
- 西武新宿線の立体化の早期事業化に向け沿線のまちづくりを推進 [7647万円]
- 豊かで美しく、活力のあるまちの実現を目指し道路の整備を推進 [15億9014万円]
- 木造住宅密集地域の改善、建築物の耐震化を促進し災害に強いまちづくりを推進 [21億3929万円]
- 災害時のエネルギー確保を強化 [1287万円]

安心して生活できる福祉・医療の充実

- 地域包括ケアの体制を強化し、高齢者世帯への支援を充実 [4億1144万円]
- 特別養護老人ホームなどの施設整備を加速し、介護人材の確保・育成・定着支援を充実 [6億1551万円]
- 介護予防・健康づくり・社会参加を地域団体との協働で区内全域に展開 [6462万円]
- 病床の確保と医療機能の整備～地域包括ケアシステムの構築へ [5654万円]
- 障害者が地域で暮らし続けるための支援を充実 [1億4057万円]
- 福祉事務所の体制強化と支援の充実、ひとり親家庭自立応援プロジェクトを推進 [4億1758万円]

区の魅力を楽しめるまちづくり

- 企業支援と商店街の魅力づくりを支援 [899万円]
- 練馬の都市農業の魅力を発信 [3787万円]
- 新たなみどり施策の展開と特色ある公園の整備 [32億9457万円]
- 練馬ならではの都市文化を楽しめるまちへ [3896万円]
- 豊かな自然の中で、誰もが身近にスポーツを楽しめるまちへ [5億6835万円]
- 「映像文化のまち構想」の策定に着手 [700万円]

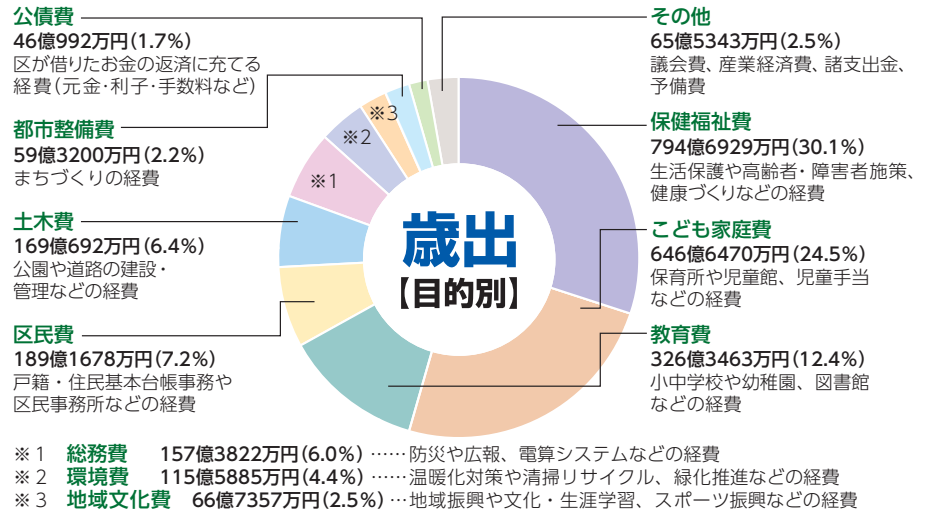
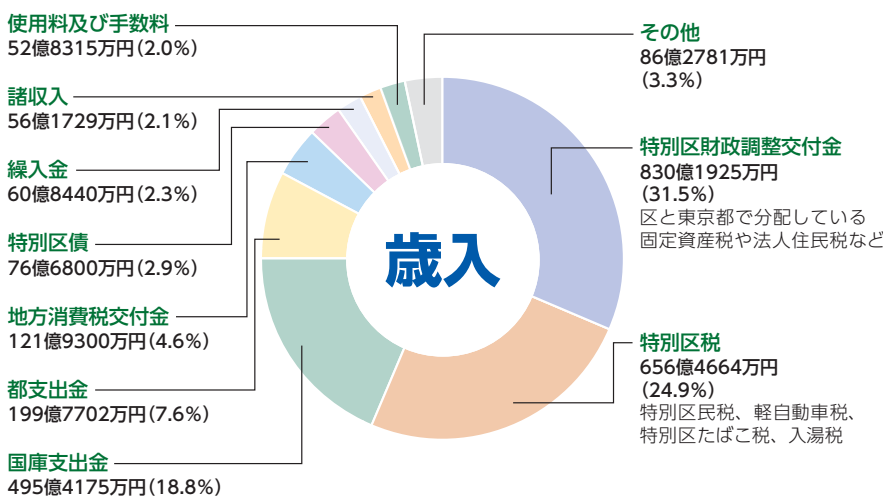
新たな区政の創造

- 練馬ならではの新たな自治の創造へ 区民参加と協働による区政をさらに推進 [1326万円]

事業の詳細は、区のホームページをご覧ください。

※ねりま区報平成30年2月11日号より抜粋

一般会計の内訳は下のグラフの通りです。予算額は2636億5831万円で、前年度と比べて121億8107万円(4.8%)の増となりました。



◆あしがき◆

区議会だより第208号をお届けいたします。本号は平成30年第一回定例会の内容を中心に編集しました。本紙について、ご意見・ご要望がございましたら議会事務局までお寄せください。

◇ 広報・図書委員会 委員長 小泉 純二

◇ 委員長職務代理 委員 有馬 豊

定例会の開催予定

次回の定例会は、6月11日(月)から開催する予定です。

どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。

傍聴受付

本会議

西庁舎9階の傍聴席入口

委員会

西庁舎5階の議会事務局

※本会議、各委員会の開催日時等の詳細は、電話等でお問い合わせいただくか、ホームページでご確認ください。

聴覚に障害のある方で、手話通訳をご希望の方は、事前にお申し出ください。